公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人高知県スポーツ振興財団	主管課名	スポーツ課
役　割	高知県におけるスポーツの振興に資する県立スポーツ施設の管理運営、スポーツの普及・振興事業の実施、スポーツツーリズムの推進		
改革の方向性	・健全経営の確保 ・スポーツ協会との役割分担の継続	主な事業内容	・スポーツの普及、振興の実施 ・県立春野総合運動公園、県民体育館、武道館、弓道場、スポーツ科学センターの管理運営(指定管理者)

令和7年度までの取組実績

1　指定管理者としての取組
①組織体制の確立や職員の適正な配置に努めた。
②運営の効率化等による経費節減に努めた。
③利用環境の整備や職員の資質向上による利用者サービスの向上に努めた。
④広報活動の推進及びスポーツ関係団体へのＰＲによる利用促進に努めた。
⑤スポーツ教室やスポーツイベントを積極的に開催し、施設の利用者増を図った。

【スポーツ教室の実施】
○R5年度実績（4施設で135教室、延べ21,033人参加）
○R6年度実績（4施設で174教室、延べ24,299人参加）
○R7年度実績（4施設で188教室、延べ27,032人参加）

2　スポーツの振興
①維持会員（スポーツ振興資金の寄付者）の拡充
【会員数】
○R5年度：44団体及び個人
○R6年度：42団体及び個人
○R7年度：40団体及び個人

②競技・生涯スポーツの普及・振興を図るために、総合型地域スポーツクラブが行う各種の活動や事業に対し、助成金を交付してスポーツの振興を図った。
○R4助成金：7団体、866千円
○R5助成金：9団体、1,230千円　　※R6から事業休止

3　パフォーマンス向上支援事業
スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体
○R5：21団体
○R6：20団体
○R7：20団体

4　スポーツ指導の支援事業（R7年度）
中学生・高校ソフトボール教室（春野総合運動公園）

5　スポーツ現場実習・職場体験学習の実施
県内中学校等と連携・協力し、職場体験学習として、生徒の受け入れを行った。
（R7：４名）

経営課題等

【経営課題】

1　指定管理者としての利点を活かした運営の効率化

2　指定管理施設の利用促進

3　県民ニーズに対応した利用者サービスの向上

【令和8年度以降の取組方針】

1 指定管理者としての取組
①高知県が設置する指定管理施設において利用者サービスを高めるとともに、適切な管理運営を行い、県民へ広くスポーツについての理解と関心を深め、積極的にスポーツを実践する意欲を啓発する。
②管理運営附帯事業及び主催するスポーツ教室等を実施する。
③施設の機能・効用を最大限に発揮し、魅力的なスポーツやレクリエーション活動の機会・空間を提供する。
④安心・安全・公正な施設の管理運営を実施する。
⑤利用者の立場に立ったサービスの提供と管理経費の縮減を目指す。

2 スポーツの振興及び普及活動
①維持会員の拡充
②利用者ニーズに基づく主体的な事業活動の展開
③観光コンベンション協会と連携し、全国的、全県的なスポーツ大会やイベントの開催を積極的に誘致する。
④ホームページやＳＮＳによる情報発信を通じて、施設の利用拡大を図るとともにスポーツへの関心の効用を図る。
⑤県内の公的スポーツ施設を良好な水準に維持するため、その整備を支援する事業を行う。

3　パフォーマンスの向上支援事業
専門機関等と連携し、アスリートの技術力向上のため、指導・助言を行う。
各競技団体等と高知県スポーツ科学センターが連携して作成した年間計画に基づき、スポーツ医科学の面から選手や指導者などをサポートする。

4 スポーツ指導の支援事業
学校やスポーツ団体等の要請に応じてスポーツ指導者による訪問指導を行い、競技力の向上や生涯スポーツの普及に努める。

5 スポーツ現場実習等への協力
中学校や高等学校、大学等から実習生の受け入れを積極的に行い、職場体験学習等を実施する。